平成 25 年 11 月 25 日

各　　位

長野県伊那市西箕輪 2148 番地 188
株式会社イナリサーチ
代表取締役社長　中川賢司
（コード番号：2176）
問い合わせ先: 執行役員 総務部長　野竹文彦
電話番号　0265（73）6647

独立行政法人科学技術振興機構(JST)　研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)
シーズ育成タイプ　採択に関するお知らせ

独立行政法人科学技術振興機構の平成 25 年度「研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)シーズ育成タイプ」に関しまして、当社の応募課題「**MHC 統御カニクイザルの有用性評価と計画生産の検討**」が 11 月 25 日、科学技術振興機構報 第 995 号の通り正式に採択となりましたので、お知らせいたします。

当社は、かねてよりカニクイザルの MHC 型（Mafa 型）遺伝子における多型解析研究を進めており、平成 22 年度の独立行政法人科学技術振興機構（JST）A-STEP シーズ顕在化の研究支援を受けて Mafa 型遺伝子の DNA タイピング法の開発に成功しました。
また、この DNA タイピング技術を駆使してフィリピン産カニクイザルにおいて、特定の Mafa 型をホモ接合体およびヘテロ接合体として有する個体を多数検出してきました。

当社は今回採択された応募課題「**MHC 統御カニクイザルの有用性評価と計画生産の検討**」において、これらの個体を基に再生医療、移植研究、がん治療研究ならびに感染症ワクチン研究などの基礎研究におけるこのモデルの有用性を検証するとともに、次世代の MHC ホモおよびヘテロ動物の繁殖増産技術の確立を図ります。同モデルは製薬企業や研究機関での研究開発に極めて有用であり、また世界的ニーズも高く、強い国際競争力を有するものと推定しております。

なお、本件が当社グループの当期業績に与える影響は軽微でありますが、来期以降の業績への影響については現在算定中であります。

用語の説明

1） MHC
：主要組織適合遺伝子複合体。MHC 遺伝子は外来抗原を非自己と認識して、感染病原体の排除や、がん細胞の駆逐、臓器移植の際の拒絶反応等の免疫反応に関与するタンパク質の遺伝子情報を含んでいます。カニクイザルの MHC 遺伝子は Mafa と呼ばれ、ヒトの MHC 遺伝子群の遺伝子構成とよく類似しています。

2) ホモ接合体とヘテロ接合体

：遺伝学において二倍体生物のある遺伝子座が AA、aa のように同じ対立遺伝子からなるものをホモ接合体といい、Aa のように異なる対立遺伝子からなるものをヘテロ接合体といいます。移植寛容という点では MHC ホモ接合体のサルから作製した iPS 細胞を用いて移植することが理想的ですが、ホモ接合体のサルは発現率が低く貴重であること、iPS 細胞の作製に長時間を要し、コストもかかる、という難点があります。そこでホモ接合体の細胞をヘテロ接合体に移植することでも急性拒絶反応を抑えることができると考えられる点に着目し、ホモ接合体のサルから樹立した iPS 細胞と比較的発現率の高いヘテロ接合体のサル個体をセットで提供することを提案しております。現在、ヒトで日本人に多い白血球の型である「HLA」に着目して進められている「iPS ストック事業」も同じ観点によるものであります。

以　上